

研究討論会各セッションの発表一覧 (印は発表者)

<沿岸域の物理> セッション1 (7月30日 9:30~10:30)

座 長 : 入江 政安 (大阪大学)

指定討論者 : 油谷 進介 (中央復建コンサルタンツ(株))

- 1 - 1 水質改善のための水路開削工法の検討 - 尼崎港を例として -
(産業技術総合研究所 山崎宗広、広島工業大学 上嶋英機)
- 1 - 2 マイクロテトラを用いた養浜による砂浜保全
(早稲田大学大学院 高山靖史、柴山知也)
- 1 - 3 重回帰分析による苫小牧海岸の海浜地形変化に関する考察
(株クマシロシステム設計 戸巻昭三、日本大学 竹沢三雄、後藤 浩)

<沿岸域の利用(1)> セッション2 (7月30日 9:30~10:50)

座 長 : 居駒 知樹 (日本大学)

指定討論者 : 森脇 宏 (株地域計画研究所)

- 2 - 1 自転車の日常的利用における河岸道の利用促進に関する研究
都市内中小河川沿いの河岸道を対象として
(日本大学 月山 茂、桜井慎一、(株)東急ホームズ 大山俊樹)
- 2 - 2 B&G体験クルーズ31年間の変遷に関する研究
(日本大学 伊堂寺淳志、近藤健雄、山本和清、伊藤眞之輔)
- 2 - 3 江戸東京における災害からみた河岸の変遷に関する研究
(日本大学 花井健太、近藤健雄、山本和清、(株)アドヴァン 村田希美)
- 2 - 4 水陸両用車いす(ティラロ)の利用効果に関する基礎的研究
(日本大学 邱 顕宇、近藤健雄、山本和清、網野琢馬)

<沿岸域管理・船舶> セッション3 (7月30日 11:00~12:20)

座 長 : 関本 恒浩 (五洋建設(株)技術研究所)

指定討論者 : 大村 哲夫 ((財)港湾空間高度化環境研究センター)

- 3 - 1 海賊対策の現状 海賊対処法とソマリア海賊
(東海大学 山田吉彦)
- 3 - 2 持続可能性を指標とした沿岸域再生施策の評価
(東京大学 多部田茂、吉田大祐、環境アセスメント学会 石川公敏、
国土技術政策総合研究所 古川恵太)
- 3 - 3 バルク船の大型化による輸送コストおよびCO₂削減の便益算定
((財) 港湾空間高度化環境研究センター 山本雄史、赤倉康寛、岡田哲一、
(財) 港湾空間高度化環境研究センター 緒方一成、山根隆行、高橋宏直)
- 3 - 4 FRP漁船の寿命と耐用年数 - 漁船統計と漁船保険統計に基づく一考察
(香川大学 明田定満、末永慶寛、松島 学、日本大学 居駒知樹)

< 沿岸域の利用 (2) > セッション 4 (7月30日 11:00 ~ 12:20)

座 長 : 宇於崎 泰寛 ((財) 日本システム開発研究所)

指定討論者 : 黒田 勝彦 (神戸市立工業高等専門学校)

- 4 - 1 アジアにおける港湾の発展段階の整理と今後の方策
(東京都水道局 栗原俊也、早稲田大学 柴山知也)
- 4 - 2 沿岸域圏総合管理計画策定に向けた基礎自治体の取組について
- 福岡県宗像市の沿岸域を事例として -
(九州共立大学 小島治幸、日本システム開発研究所 木下 明、
国土交通省九州地方整備局 久保敏哉)
- 4 - 3 海岸の利用保全にビーチクラブが果たす役割と効果
クラブ代表者、海岸管理者、参加者を対象とした調査に基づく考察
(日本大学 桜井慎一、有賀喜英、東急建設(株) 増井佑吏)
- 4 - 4 海辺地域における朝市型店舗の実態と地域にもたらす効果
全国の朝市管理者および勝浦・葉山朝市来客者を対象として
(日本大学 有賀喜英、桜井慎一、(株)パナホーム北関東 黛 匠)
- 4 - 5 海水浴場における環境衛生施設に関する二、三の実態調査
(日本大学 後藤浩、前野賀彦、竹澤三雄)

< 沿岸域環境 (1) > セッション 5 (7月30日 13:20 ~ 15:00)

座 長 : 稲田 勉 (東洋建設(株))

指定討論者 : 島崎 敏一 (日本大学)

- 5 - 1 水辺の空間特性を活かした屋外広告物の設置方策
広告照明の減光率変化に伴う注視特性分析を通じて
(株)竹中工務店 小林史弥、桜井慎一)
- 5 - 2 ダイビングスポット誘致が与える漁業者への影響と効果に関する研究
東京都、千葉県、神奈川県ダイビングスポットを対象として
(日本大学 寺口敬秀、桜井慎一)
- 5 - 3 海浜砂の紅斑紫外線反射率分布
(日本大学 木皿吉則、川西利昌、浦野 彩、新里愛子)
- 5 - 4 大型海藻による水質浄化効果に関する研究
(日本大学 柴田竜馬、堀田健治、岡本強一)
- 5 - 5 沿岸域における波音の聴取によるリラックス効果に関する基礎的研究
(日本大学 大澤 佑輔、堀田健治、岡本強一)

<防災(1)> セッション6 (7月30日 13:20~15:00)

座 長：多部田 茂 (東京大学)

指定討論者：柴山 知也 (早稲田大学)

- 6 - 1 コアエリアにおける砂浜から海岸林までの砂の粒径
(千葉県立成田西陵高等学校 河口智志)
- 6 - 2 地球温暖化に対応した漁港海岸保全施設の整備について
(株)アルファ水工コンサルタンツ 市川真吾、大谷靖郎、佐藤勝弘、齋藤正文、
水産庁 的野博行、山口正裕)
- 6 - 3 日本の自然海浜に未来はあるのか？
(財)土木研究センター 宇多高明)
- 6 - 4 直立浮上式防波堤の開発
(独)港湾空港技術研究所 木原一禎、有川太郎、三菱重工鉄構エンジニアリング(株)
(株)大林組 小林真、東亜建設(株) 永友久信、新日鉄エンジニアリング(株) 木村博英)
- 6 - 5 漁港海岸保全施設の老朽化マニュアルの改訂について
(株)アルファ水工コンサルタンツ 奥野正洋、大谷靖郎、齋藤正文、
(財)漁港漁場漁村技術研究所 加藤広之、林 浩志、水産庁 的野博行、深田 宏)

<沿岸域環境(2)> セッション7 (7月30日 15:10~16:30)

座 長：西原 潔 (株)竹中土木)

指定討論者：木幡 邦男 ((独)国立環境研究所)

- 7 - 1 漂着プラスチック由来の沿岸域汚染に関する研究 その1.沖縄での調査
(日本大学 塩野谷文貴、道祖土勝彦、佐藤秀人、全南大学 鄭 宣龍、
蘭陽技術学院 歐 志銘)
- 7 - 2 漂着プラスチック由来の沿岸域汚染に関する研究 その2.台湾での調査
(日本大学 佐藤秀人、塩野谷文貴、道祖土勝彦、全南大学 鄭 宣龍、
蘭陽技術学院 歐 志銘)
- 7 - 3 マイクロバブルと土壌細菌を用いた海底堆積汚泥の浄化
(日本大学 河村岳明、岡本強一、堀田健治)
- 7 - 4 廃棄海藻等を活用した環境配慮型濁水処理技術の開発
(東洋建設(株) 稲田 勉、佐藤道祐)

<防災(2)> セッション8 (7月30日 15:10~16:30)

座長：富田 孝史 ((独)港湾空港技術研究所)

指定討論者：山口 一 (東京大学)

- 8 - 1 漁業地域における減災計画策定手法の開発について
((財)漁港漁場漁村技術研究所 大塚浩二、保坂三美、冨澤伸樹
(独)水産総合研究センター水産工学研究所 浅川典敬
水産庁 渡辺浩二、成田賢仁
- 8 - 2 港湾産業防災計画に関わる海域津波ハザードマップの開発
(日本大学 小泉佐和子、増田光一、居駒知樹)
- 8 - 3 MPS法を用いた津波による浮体の乗り上がりと建築物への衝突力に関する研究
(東京海洋大学 増田光弘、日本大学 増田光一、居駒知樹、前田久明)
- 8 - 4 津波災害に伴う公共交通機関の停止を考慮した重要業務および参集可能な
業務従事者数の算定に関する研究
(名古屋大学 黒崎ひろみ、徳島大学 中野 晋)

<沿岸域環境(3)> セッション9 (7月31日 9:50~11:10)

座長：木原 一禎 (三菱重工鉄鋼エンジニアリング(株))

指定討論者：間瀬 肇 (京都大学)

- 9 - 1 人為的改変に伴う自然海浜の狭小化 - 千葉県勝山海岸の例 -
(日本大学 大貫 崇、小林昭男、遠藤将利、(財)土木研究センター 宇多高明、
(有)アイコムネット 野志保仁)
- 9 - 2 津波による養殖施設の漂流について
((財)漁港漁場漁村技術研究所 丹治雄一、加藤広之、
防衛大学 藤間功司、鴨原良典、政所 翔)
- 9 - 3 宮崎県北部耳川~都農川間での消波工設置に起因する保安林の成育阻害
(国際航業(株) 星上幸良、土木研究センター 宇多高明、
三洋コンサルタント(株) 柴崎 誠、(独)森林総合研究所 萩野裕章)
- 9 - 4 ツバル国フナフチ環礁南部のフナファラ島での砂浜形成機構の観察
(国際航業(株) 倉田隆喜、泉 正寿、星上幸良
土木研究センター 宇多高明、水産エンジニアリング(株) 隠木俊人)

<沿岸域の活性化> セッション10 (7月31日 9:50~10:50)

座長：大谷 靖郎 ((株)アルファ水工コンサルタンツ)

指定討論者：影山 智将 ((財)漁港漁場漁村技術研究所)

- 10 - 1 現地踏査による沿岸「朝市」の実態と特性分析
(国土交通省国土技術政策総合研究所 森本剣太郎)
- 10 - 2 漁村地域における新たな成長戦略に関する考察
((株)アール・ピー・アイ 大島 肇)
- 10 - 3 漁村地域の住民・住民組織による地域活性化の取り組みの初動期における特性(2)
(東京工業大学 土井良浩)

<沿岸域の環境教育> セッション11 (7月31日 11:20~12:00)

座長：佐々木 淳 (横浜国立大学)

指定討論者：上嶋 英機 (広島工業大学)

- 11 - 1 大学が関わる海洋環境学習プログラムの意義と課題
- 葛西臨海たんけん隊プログラムを事例に
(東京海洋大学 有馬優香、川辺みどり、石丸隆、堀本奈穂、河野博、茂木正人)
- 11 - 2 底生系・浮遊系に着目した環境学習・生物観察の場としての干潟の魅力
- 多摩川河口干潟を例にして
(NPO法人 海辺つくり研究会 五明美智男、東亜建設工業(株) 玉上和範)

<景観・設計> セッション12 (7月31日 11:20~12:00)

座長：重松 孝昌 (大阪市立大学)

指定討論者：横内 憲久 (日本大学)

- 12 - 1 生物生息環境としての適正度を指標としたテラス型護岸造成の一指針
(国土技術政策総合研究所 古川恵太、
国土交通省九州地方整備局 梅山 崇、岡田知也)
- 12 - 2 建築家の創作論から捉えた水と建築の成立要因に関する研究
(日本大学 遠藤泰介、登川幸生)

<生態系(1)> セッション13 (7月31日 13:00~14:20)

座長：五味 久昭 (三洋テクノマリン(株))

指定討論者：小松 輝久 (東京大学)

- 13 - 1 東京湾を対象にしたアサリネットワークにおける生息場間相互影響の
定量的把握について
(日本大学 大塚文和、増田光一、居駒知樹
三井共同建設コンサルタント(株) 弘中真央)
- 13 - 2 シミュレーションベースのハビタット評価による戸田御浜環境再生案の検討
(パシフィックコンサルタンツ(株) 久松力人、
東京大学 多部田茂、加藤孝義、岡本 研、
横浜国立大学 村井基彦、海洋生物環境研究所 日野明徳
東京大学生産技術研究所 木下 健、北澤大輔)
- 13 - 3 シェムリアブ市周辺におけるトンレサップ湖の水環境に関する基礎的研究
(東京大学 本宮佑規、多部田茂、片山浩之、端 昭彦、甲斐荘秀生、秋山知宏、
東京大学 徳永朋祥)
- 13 - 4 サンゴ基盤の構築方法に関する研究
(菱重工鉄構エンジニアリング(株) 木原一禎、日本触媒工業(株) 山本 悟、
東京大学 鯉淵幸生、阿嘉島臨海研究所 谷口洋基、
(株)シービーファーム 近藤康文)

<生態系(2)> セッション14 (7月31日 14:40~16:20)

座長：石田 健一 (東京大学海洋研究所)

指定討論者：石川 稔矩 (日本大学)

- 15 - 1 大阪湾における環境技術適用による効果の評価
(日本ミクニヤ(株) 岩井克巳、中條幸代、奈良県立大学 村田武一郎
東洋建設(株) 麻西幸二、京都大学 中原紘之)
- 15 - 2 瀬戸内海における超長期的生態系・景観モニタリングの研究
(日本ミクニヤ(株) 市村 康、土屋正隆、広島工業大学 上嶋英機、
鳥取大学 松原雄平、(独)産業総合研究所 谷本照己、
環境省中国四国地方環境事務所 徳丸久衛、阿蘇品勉)
- 15 - 3 北九十九里浜における人工構造物がチョウセンハマグリの幼貝に与える影響
(東京大学 平塚四郎、森田健二、鯉淵幸生、磯部雅彦)
- 15 - 4 生態系景観の類型化と評価手法の構築に関する研究
(広島工業大学 岩佐善江、上嶋英機)
- 15 - 5 市民参加による干潟調査・ハゼ資源調査
(NPO法人海辺つくり研究会 鈴木 覚、五明美智男、東邦大学 風呂田利夫、
(財)港湾空間高度化環境研究センター 中島正雄)

<沿岸域環境(4)> セッション15 (7月31日 14:40~16:20)

座長：岩井 克巳 (日本ミクニヤ(株))

指定討論者：堀田 平 ((独)海洋研究開発機構)

- 16 - 1 竹ヶ島海中公園の海中光環境とサンゴ群集の関係
(徳島大学環境防災研究センター 中野 晋、日建工学(株) 清水里香、
ニタコンサルタント(株) 安藝浩資、岡田直也、徳島大学 塩崎一樹)
- 16 - 2 備讃瀬戸海域の栄養塩動態と水産被害に関する解析
(産業技術総合研究所 三好順也、高橋 暁、三島康史、湯浅一郎)
- 16 - 3 海浜公園の面日除け率に関する基礎的研究
(日本大学 奥山大輝、川西利昌、渡辺直人)
- 16 - 4 ビーチバレー会場の日除けに関する研究
(日本大学 橋口真奈美、川西利昌、勝山翔太郎 安食美沙)
- 16 - 5 伊勢湾における底曳網漁業の実態調査
(東京大学 須藤隆行、多部田茂、水産総合研究センター中央水産研究所 中村義治、
大阪大学 入江政安、東海大学 関いずみ、(株)フィスコ 関根幹男、
環境アセスメント学会、石川公敏、国土技術政策総合研究所 古川恵太)